

ライオンのからだ

かんさつした日

天気

20 年 月 日

※ 動物に エサをやったり おどろかしたりしないでね！

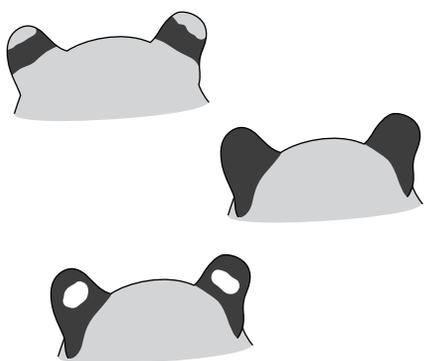
◆ ライオンをよく見て、○をつけよう！

★今日は、運動場に何頭いたかな？

1頭だけ ・ () 頭くらい

オスのたてがみは、どれ？

耳のうしろは、どんな 모양？

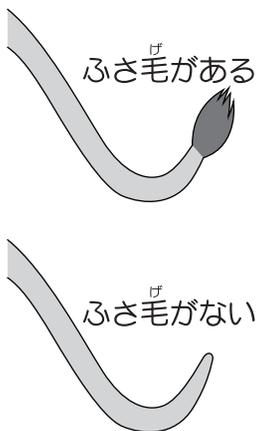


顔の
まわりだけ

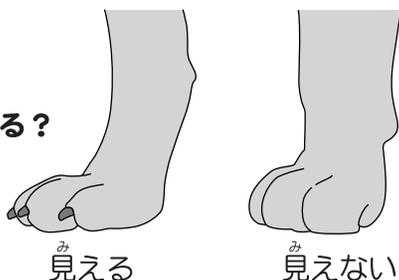
顔と
首のまわり

顔から
胸まわり
にかけて

しっぽは
どっち？



足のつめは、見える？



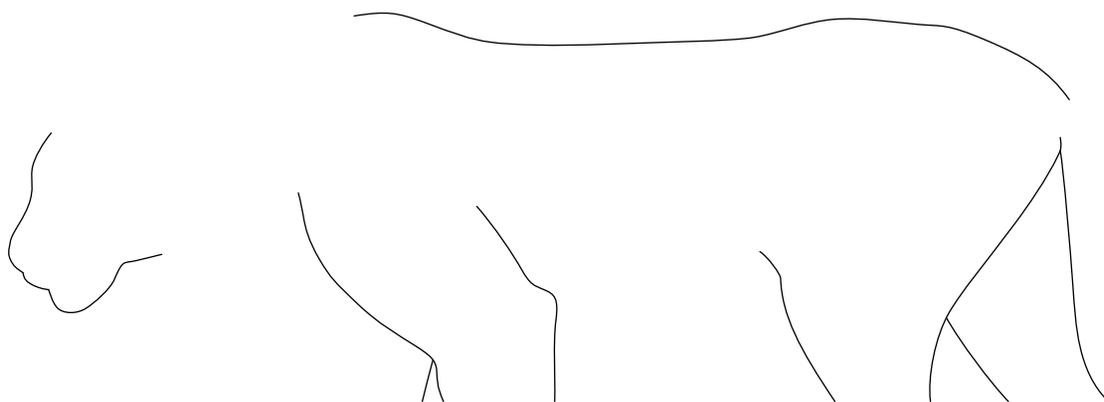
たてがみは、なに色？

白 灰色 オレンジ色

黒 茶色 こげ茶色

◆ ライオンをよく見て、スケッチを完成させよう！

かいたのは、どっち？ オス ・ メス



地面は、このへん

★ もう少しくわしく見てみよう！

- 前足と後ろ足、どっちが大きいかな？ 足先の太さをくらべてみよう。
- ひげは生えているかな？ どこに生えているかな？ 長い？ 短い？
- 体にもようはあるかな？

見られたら、スケッチにかき足してみてね！

★ ライオンと同じくらい大きなネコの仲間といえば、トラ。
どこが似ていて、どこが違う？

このかんさつシートで見たことを、トラでも見てみよう。
耳のうしろのようは？ しっぽの先は？ 足のつめは見える？ たてがみがあるかな？

【ヒント】

オスとメスの違いは、お尻にある袋（陰嚢）があるか、ないかで確かめられるよ。
袋（陰嚢）があればオス、なければメスだよ。

ステップUP!

ライオンのからだ <解説>

ライオン (食肉目ネコ科)

熱帯のひらけた林や草原(サバンナ)にすんでいます。アフリカでは最大のネコ科の肉食動物です。主な獲物はスイギュウやシマウマ、シカなどの大型の草食動物です。数は少ないものの、インドにもいます。

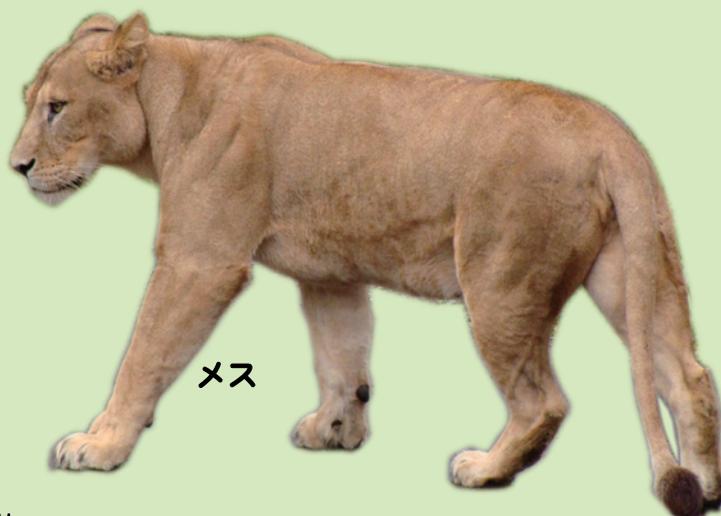
狩りに適した体

オスはメスより体が大きく、オスの体重は 150 ~ 230kg、メスは 120 ~ 200kg です。インドにすむライオンはやや小さめです。

あご 丈夫なあごをもち、かむ力は強力です。大きな牙とともに武器になります。



みみ 先は丸い形で、耳の後ろ側には黒い模様があります。後ろからついてくる仲間への目じるしになると考えられています。



メス

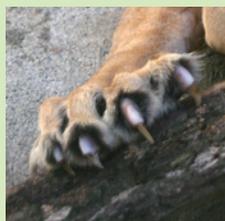


め 2つとも前を向いています。両目で見ることによって獲物との距離をつかみます。丸い瞳はまわりの明るさによって大きさが変わります。

からだ **け** **体の毛** 基本的な毛の色は茶色です。赤ちゃんのときは、黒っぽい「はん点模様」があります。おとなになっても頭や足に模様が薄く残っているライオンがいます。



ひげ 体の毛より太くて長く、かたい毛です。風向きや近くの障害物を察知するのに使います。

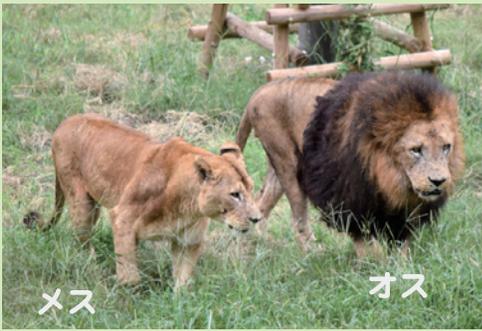


あし 大きな獲物をおさえこむため、足は太く、前足は後ろ足よりも大きくなっています。足先には鋭いかぎ爪がありますが、力を入れたときだけ出して使うので普段は見えません。

しっぽ 先にふさ毛があります。ネコの仲間ではライオンだけです。しっぽには群れの仲間へ気持ちを伝える役割があると考えられています。



む 群れのくらし



ネコの仲間ではめずらしく群れでくらし、きょうりよく協力して狩りをします。ライオンの群れのことを「プライド」といいます。1～数頭のオスと、オスの倍以上の数のメス、その子どもたちでプライドを作ります。オスが群れのなわばりを守り、メスが狩りや子育てをしますが、必要に応じて、お互いの役割を手伝うこともします。

とくちょう おとなのオスの特徴：たてがみ

たてがみはオスにだけ生えます。くらす地域によって、たてがみの生える範囲や長さ、色はさまざまです。胴まわりまで生えているライオンもいれば、顔のまわりにだけ生えているライオンもあります。また長く垂れたたてがみがあれば、短く毛が立つたてがみもあります。さらに色は、白に近い薄茶から茶色、黒などバリエーションがあります。

【たてがみの変化】 たてがみは、成長にともなっても量や色が変化します。

あか 赤ちゃん



赤ちゃんのときにはたてがみがなく、メスとの違いはほとんどありません。

こども



生後6ヶ月をすぎると伸び始めます。はじめは体の毛と同じような色をしています。

わかもの



成長とともにたてがみが長くなり、色も濃くなります。

おとな



4才ごろに、たてがみが完成します。

ながくて色の濃い たてがみは “かっこいい!?”

ながくて色の濃い たてがみは、ながい年月を生き抜いてきた証です。そのため、たてがみがながくて色の濃いオスは、そうでないオスに対して、自分の強さをアピールできます。またおそらく同じ理由で、メスは色の濃い たてがみをもつオスを好む傾向があります。